



志賀高原
ユネスコ
エコパーク

信州 たかやま議会

139号

2022年7月25日

発行／高山村議会

発行責任者／西原 澄夫

編集／議会報編集特別委員会



【6月定例会】

- 補正予算、条例改正 …………… 2－3
- 一般質問(11名) …………… 4－9

【委員会】

- 議員視察…………… 9－11
- 信州たかやまワイナリー
飯綱町

【わたしの声】

- 川島弘平さん …………… 12

6月7日の一般質問を、高山中学校の3年生が学習の一環として傍聴しました。この学習は秋に行われる予定の中学生議会に反映されるそうです。

経済支援とコロナの先を見据えた 2億8801万円の追加予算

総額 44億7501万円（補正後）

6月定例会

令和4年第3回6月定例会は6月2日から10日までの9日間の日程で開催されました。補正予算など、村から提出された案件は議案7件、承認10件。陳情による採択2件で、すべて原案通り可決されました。一般質問には、11名の議員が登壇し、村政の課題などについて質問しました。

条例改正議案3件

- 村税条例等の一部を改正する条例（全員賛成）
- 高山村手数料条例の一部を改正する条例（全員賛成）
- 高山村営住宅等管理条例の一部を改正する条例（全員賛成）

令和4年度高山村補正予算 4件

物価高騰等 対策支援金給付事業

物価の高騰などによる生活への影響が大きいことを受けて、村民ひとりあたり2万円を給付する事業です。財源は、国の交付金に加え、村の財政調整基金から、充てられます。

13,731万円



児童福祉施設一般経費

たかやま保育園の遊戯室にエアコンを設置します。

1,495万円

施設改修工事

YOU遊ランド多目的ホール（室内ゲートボール場）の天窓を改修します。

549万円



指定避難所 ネットワーク構築 工事請負費

主要避難所5ヶ所（小、中学校体育館・北部体育館・高井トレセン・ふるさとセンター体育館）に避難者名簿などが速やかに見られるようにする回線を整備します。

800万円



承認10件

- 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 (全員賛成)
- 村税条例の一部を改正する条例 (全員賛成)
- 高山村手数料条例の一部を改正する条例 (全員賛成)
- 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 (全員賛成)
- 特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例 (全員賛成)
- 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 (賛成多数)
- 高山村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例 (賛成多数)
- 高山村第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 (賛成多数)
- 令和3年度高山村一般会計補正予算 (全員賛成)
- 令和3年度高山村診療所特別会計補正予算 (全員賛成)

陳情2件

陳情第1号

『義務教育費国庫負担制度の

堅持・拡充を求める意見書』

採択を求める陳情書

総務文教常任委員会では賛成多数で採択すべきと決定。本会議は、全員賛成で採択し、議員発議第3号による意見書を全員賛成で可決し、関係機関に提出しました。

陳情第2号

『さらなる少人数学級推進と

教育予算の増額を求める意見書』

採択を求める陳情書

総務文教常任委員会では全員賛成で採択すべきと決定。本会議は、全員賛成で採択し、議員発議第4号による意見書を全員賛成で可決し、関係機関に提出しました。

令和4年第3回高山村議会

6月定例会一般質問

1番	滝澤 聖	4
2番	山崎 秀治	4
3番	柴田 弘男	5
4番	梨本 進	5
5番	松本 茂	6
6番	湯本 辰雄	6
7番	久保田雄吉	7
8番	勝山 正弘	7
9番	沖島 祥介	8
10番	黒岩 清道	8
11番	高井 央葉	9

6月7日の一般質問を
高山中学校3年生が
傍聴しました



滝澤 聖 議員



歴史民俗資料館の運営管理について

問 入館料を無料にして入館者数を増やすための検討結果についてどうなったのか。

教育次長

入館者数が年々減少にあり改めて施設の現状を見直すことが必要です。收藏品や情報の整理を行い、展示品を充実させ入館料は据え置きたい。

問 村財政を鑑み初期の研究、保存、展示の場として今後どの様にするか、意見を求める場を設けてほしい。

教育次長

長い歴史の中で先人が築き上げ守り続けてきた素晴らしい景観や文化を再認識し、しっかりと後世に継承していくため民俗資料館が担う役割を明確にしていかなければならないと考えます。

問

屋根からの落雪により屋



歴史民俗資料館。

根瓦が落下し住民の皆様に迷惑をかけたが対策はされないのか。

教育次長

40年近くの歳月が経ち、老朽化が進んでいる。落雪防止も含め改めて建物の危険防止対策を見直し敷地内の安全管理に万全を期したい。

高山村内にある公衆トイレ利用向上の改善について

問 村に訪れていたいただいた観光客の皆さんのために、通年すべての公衆トイレを利用できるように出来ないか。

住民税務課長

公衆トイレについては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、「市町村は必要と認める場所に、公衆便所及び公衆用ゴミ容器を設け、これを衛生的に管理しなければならない」と規定されている「歴史民俗資料館」と「城山つつじ公園」のトイレは冬期間に施設を開設してはいけないことや、凍結などにより適正管理が難しいため閉鎖しています。

山崎 秀治 議員



学年費の負担軽減を

答 今後も負担の軽減に努めたい

問 保護者には、給食費のほかに学校納入金(学年費)の負担がある。どのような負担を求めているのか。給食費等学校納入金の額は県平均より低い、さらなる軽減を求める。

の負担がある。どのような負担を求めているのか。給食費等学校納入金の額は県平均より低い、さらなる軽減を求める。

各教科のドリル帳、長期休みの学習帳、などの負担をお願いしている。できる限り保護者の負担軽減に努めてきたが、学校と連携し、どのような支援が望ましいのかなど今後検討していきたい。

教育長

農業の担い手の年齢構成は

答 70才以上が57・6%

問 農業の担い手は20年間で104万人減少し、136万人。51%が70歳以上、村の年齢構成はどうか。水田活用交付金見直しの中止を求めるべきか。

産業振興課長

村の農業の担い手は20年間

「核禁条約」に参加を求めていくべきだ

答 答えは差し控える

問 「核共有」についての考えは。核兵器禁止条約に参加するよう政府に求めるべきでないか。

で256人減少し569人である。70歳以上が57・6%で全国より高い状況である。水田活用交付金については、県や農業会議などで村の実情をつなげ、制度の見直し等要望していきたい。

の負担がある。どのような負担を求めているのか。給食費等学校納入金の額は県平均より低い、さらなる軽減を求める。



農業の中心的担い手は57.6%が70才以上。

「核禁条約」に参加を求めていくべきだ

答 答えは差し控える

村長

唯一の戦争被爆国として「非核三原則」はしっかり守ってほしい。核兵器禁止条約は国会で議論すべき、私の考えを述べることは差し控える。

柴田 弘男 議員



村内の県道や村道整備対策は

答 道路の安全・安心な環境を確保し
維持管理に努めたい

問 上下水道の掘り返しの段差やU字溝の沈んだ場所・舗装の劣化・穴あき・マンホールの沈みなどで大変通行が苦痛であります。

高齢者のシニアカーや自転車通学されている方の移動が交通事故にもつながる、村は早めの対策を。

建設水道課長

県道を管理する須坂建設事務所では、主要地方道路の豊野南志賀公園線の宮関地区は、舗装補修工事を計画して

います。村では、令和4年度当初予算で、舗装修繕費に、1,700万円、路肩・側溝修繕費540万9千円、区画線や路面標示、ガードレールなど交通安全施設費で727万2千円、橋梁修繕費に5,000万円計上しております。

生活基盤の道路を、安全かつ快適に利用していただくために、村職員のパトロールや村民の皆さんからの情報提供をいただき、道路の安全・安心な環境を確保して、維持管理に努めて参りたい。



マンホールの段差とひびや穴が危険な道路。

梨本 進 議員



行政運営について

答 住民福祉の向上のため、働き甲斐のある職場環境の改善に取り組む

問 ①勤怠管理
②業務のリスク
予防と危機対応。

③パワーハラスメント対策。
④ダイバーシティの取組み。

総務課長

特定の職員にだけ負担が偏らないよう、業務の効率化を図りノー残業デー実施等で職員の健康管理に努めている。業務進捗や課題を共有し、リスク予防を図る。職場ハラスメントの意識向上や相談体制の充実を図る。職員採用では、障害者枠など多様な人材活用や積極的な女性採用を進め、女性活躍の場の拡大に努めている。



賑わいの場
創出事業について

答 山田牧場整備の
構想実現へ検討を進める

問 ①検討委員会の実情とタイムスケジュールは。②核となる「道の駅」的な複合施設構想への転換はないか。

村長

「賑わいの場構想検討委員会」は、平成三十一年立上げ、検討を重ねてきた。山田牧場関係者との一定の合意が得られ、遅れをとったが本年度は構想実現の検討を進める。道の駅的な核となる複合施設を、一か所建設よりは、既存活用で複数の施設を整備し、村内を巡り長く滞在してもらい、賑わい溢れる高山村にしたい。

松本 茂 議員



地域資源活用への支援策について

問 コロナによる客足の減少に対する村の補助について。

村長

「高山村商品券発行事業」を総額一億円に増額すると共に、「高山村第6波対応支援金」の他、売り上げの減少率に応じて給付する「高山村事業継続給付金」や宿泊者増加のための「観光客誘致支援事業」、「バス旅応援事業」や令和4年度の温泉使料を減免するなど、支援策に全力を挙げて取り組んでいる。

問 農林産品の加工やお土産品の開発、ワイナリー経営に対する支援策は。

村長

特産品の支援や補助するため「特産品開発支援事業」や「創業等支援事業補助金」クラウドファンディングを活用した場合の「ふるさと投資活用型地域産業支援事業補助金」や「高山村農業6次産業化推進事業補助金」により特産品開発や経営支援を講じております。

問 簡易電柵や山田牧場の電柵支援について。

村長

本年度より電気柵の交付金を一キロメートルあたり3万円に増額しています。

山田牧場の皆様には放牧推進事業等の補助金活用をお願いいたします。

問 観光宿泊客に村単独でのお土産クーポンの発行の考えは。

村長

県の信州割SPECIALLの観光クーポン券があります。事や国のGOTOキャンペーンも復活する可能性があり単独でのクーポン券発行事業は考えておりません。



本年度100頭以上の放牧が見込まれる山田牧場。

湯本 辰雄 議員



駐在所南に横断歩道の設置を

答 困難です

問 ①二ツ石黒部、荒井原の小学生の登下校は荒井原墓地の北側を通るので、駐在所南の交差点に辿り着く。そこには横断歩道がないので、横断歩道の設置を求めます。

②小学校南の道路の南側にはグリーンベルトが設置されているが、北側にはない。北側にも設置を。

建設水道課長

①既に近くにあるので横断歩道設置は困難です。歩行者の安全を守るために警戒標識や路面標示などにより対処したい。

②歩行者が少ないので、設置の是非を含め研究したい。



駐在所南交差点。

高齢者センター入浴料を無料に

答 負担をお願いします

問 高齢者福祉センターの利用者は、建設時の平成15年度は12,662人で1日あたり36人。コロナ禍前の平成30年度は11,219人で1日当たり32人。平成30年度の年間利用者数から無料期間の利用者数を除き、会議や休憩室のみの利用者を除くとさらに減少する。年間入浴料収入は80万円程度と思うので、使用料の無料化を求めます。

村長

受益者の応分の負担の原則に従い、開設当時の老人クラブなど、関係者のご理解を受け負担をお願いすることとしている。令和2年の収入は486千円でしたが、貴重な財源です。

久保田 雄吉 議員



観光振興、人口減少対策には
村名の改名が必要ではないか

問 2007年に
山田温泉で開催さ
れた日本温泉地域
学会からの本村へ
の指摘事項について（現在の
高山の村名では一流の観光地
にはなれないとの指摘あり）。

問 以前の中学生議会からの
『村の改名の要望』の内容を
知りたい。

教育次長

校109名、山田241名、
奥山田163名です。

産業振興課長

当時の収録したケーブルテ
レビの媒体が見つからないた
め具体的な内容は分からない。

問 昨年村で生まれた子供は
何人か。また、高山村の合併
当時の小学校の児童数はどの
位か。

教育次長

令和4年3月までの一年間
に生まれた子供は26人です。
昭和31年合併当時の小学校の
児童数は高井507名、牧分



合併当時、奥山田小学校だけでも1学年27名の児童がいた。

平成17年度の中学生議会で
女子バレーボール部が全国大
会で見事3位に輝いたが選手
から大会では長野県高山村の
知名度が低く他県と間違えら
れ残念、『信州高山村』に改名
を、と提案がなされ、更に平
成23年度の中学生議会でも、
中学生が村の認知度を調べた
ら、県外では飛騨高山や群馬
高山と勘違いされ 認知度が
低いことがわかり再び改名の
提案がなされました。

勝山 正弘 議員



職員の教育・管理について

答 前例踏襲でなく、常に疑問を持って
取り組む職員づくりを目指したい

問 今年是新規採
用が十一名と例年
になく多く、職員
への教育は特に重
要です。新卒者は貴重な人材
であり、財産でもあることか
ら『人財』とも呼ばれています。
独り立ちするまでの仕組みや
フォローはできていますか？
また最近、他県では職員によ
る多額の誤送金ミスがあり、
本村でも介護保険料の過大な
徴収・還付が報道されました。
今後の再発を防止する仕組み
やチェック体制をどう考えて
いますか？

村長

①新人の教育は3月の新規採
用職員研修の実施と、県市町
村職員研修を受講しています。
村独自のメンタル研修は、係
長や前任の職員が緊密に連携
を取り、常にフォローしてい
ます。
②事務処理のチェック体制は
システムに依存している状況
を見直し、二重三重のチェッ
ク体制を確立していきます。

YOU遊ランド等の
公共施設の利用者の
確保・拡大について

問 施設の直接運営の状況
は？会員数は減少していない
が村民外が多く村内は低迷し
ている。サービスも村民に対
して低いのでは？

村長

残念ながら赤字からは脱却
できていない。無料券の配布
等は実施しているが、運営委
員会を充実させ、会員及び利
用者の拡大をしていきたい。

温泉のもたらす副産物の
事業化について

問 施設に隣接し排湯を利用
したハウス栽培を他県では成
功している。本村でも検討で
きないか？花やイチゴ・トマ
トといった年間安定して生産・
販売でき雇用の創出にもつな
がる。また特産物としてブラ
ンド化も可能。脱炭素、SD
Gsの対応と補助金の活用も
検討したらどうか？

産業振興課長

先進事例を参考にして研究・
検討を進め、村としても再生
エネルギーの活用を考えたい。

沖島 祥介 議員



役場庁舎に設置してある太陽光発電設備の余剰電力をついで村内初のEVスタンドを設置しては？

答 全国的な普及状況を見極めながら、設置場所等も含め慎重に検討していく。

問 発電した電力は災害時用の蓄電池設備、役場、公民館の日常の電力として使用しているが、R2年に約2万kw、R3年約1.7万kwが未使用となっている。有効活用策として、(売電できないので)村内初のEVスタンド(無料)の設置ができないか？

総務課長

確かに、土日祝日の余剰電力はあるが、平日を含めての、安定した充電サービスを提供することは難しい。また、新たに、蓄電設備、接続等に多額の費用が生じることから、直ちに着手するのは難しい。ただ、県でもEVスタンドなどの充電インフラ整備を進めており、本村においては、観光振興を支えるためにも、今後、設置場所等も含め、慎重に検討して参りたい。

問 定住支援室の問題点について。移住定住において、賃貸

物件が少ない現状において、空き家バンクを村で買取り、賃貸物件に回しては？
また、「U-Jターン就業・創業移住支援事業」をもっとPRし活用しては？

産業振興課長

物件の取得方法やリフォームのあり方、賃貸方法など、様々な課題があることから、先進事例等を参考に、柔軟な発想で取り組んで参りたい。

他に「新型コロナウイルス感染症対策としての行事の取りやめ」、「役場の勤務状況について」質問しました。



庁舎正面玄関に設置してある発電量等監視モニター。

黒岩 清道 議員



高山村の情報発信について

問 情報発信は、観光や移住定住などに大きな役割をします。発信の仕方も色々あります。村でもパンフレットを作りましたが、作ってからが大事なのです。多くの人が見て、足を運んで高山村のファンになって頂く事が大切なのです。そこで、3つ質問します。

教育次長

③まずは、中学校のホームページに掲載して、リンクすることで、広く情報発信していくことは技術的に可能であると考えております。

村の拠点について

①パンフレットは、どの様な処に置かれ活用していますか。

②データを活用して、新聞や雑誌に特集を載せる事など考えていますか。

③中学生の総合学習で、地域を紹介するPR動画などを作っていますが、村や観光協会のホームページに載せる事は出来ないのか。

産業振興課長

①村内の45ヶ所のほか、近隣の観光協会や銀座NAGANOなど、さらに善光寺御開帳の案内



教育長

村では、これまでの経過を踏まえ、公民館の長寿命化を図りつつ、ホールや図書館の整備を基本にすえて文化交流施設の整備検討を進めることとしております。

高井 央葉 議員



学校給食における地域食材の利用について

答 将来を見据えて新たな組織の発掘や
仕組みづくりを考えていきたい

問 学校給食においても地産地消を積極的に推進しようとしていると思うが、実際の地域食材の利用状況と、推進するための方策は。

答 な、美味しい給食を提供するほか、生産者の生産意欲向上や地域経済の活性化にも繋がるものと考えている。

高山村の特産品PRと
販路の拡大について

答 イベントなどの場を積極的に利用するとともに、村内の既存施設を巡り村内に滞留していただく仕組み作りも検討して参りたい

問 まだまだコロナの影響が残る中で、高山村の特産品をどうPRし販路拡大に繋げていくか、村の方策は。

産業振興課長 村内の事業者の皆さんや観光協会などと連携を図りながら特産品のPRと販路拡大に努めてまいりたい。また、独自の特産品の開発や既存の商品の改良、販売促進やPR活動などを支援する支援事業や補助金などを活用していただきたいと考えている。



村内商店の一角。
村内で農産物を作られている方々
がその時期ごとに収穫した野菜や
果物を納品している。

教育次長 現状で年間を通じて提供しているものは米と牛乳で、旬の野菜やくだものなどは時期が限られているのが現状。地域食材を継続して利用していくため、栄養教諭から生産者の皆様と連絡を取らせていただき、食材の確保に努めています。方策としては、産業振興課との連携を強化し、情報共有をするよう調整している。地域食材の活用は安全で安心

村内企業視察

In 信州たかやまワイナリー 4月22日

世界に誇れる高山村の『ワイン』

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、困窮する村内企業を視察することになりました。企業の様子を実際に見て、お話を伺うことで、必要な支援について考える機会にしていきます。

今回は、信州たかやまワイナリーへ伺い、ワイナリー建設の経緯から、醸造のお話、そしてコロナ禍での大変な状況などについて、涌井社長と鷹野醸造長に伺いました。高山村のぶどうで作られるワインへの注目度の高さも伺い、今後の盛り上がりへの期待と、支援の重要性を感じました。

これからも、村内の現状を実際に見て聞き、議員活動に活かしてまいります。

(福祉産建常任委員長
高井央葉)



常任委員会合同視察

In 飯綱町 6月14日

飯綱町立飯綱中学校

飯綱町立飯綱中学校は平成24年に竣工し、約10年経っていますが、打ち放しコンクリートの壁面に囲われ、まるで美術館のような外観を持った建物です。この中学校の一番の特徴は、図書館、講堂を町民も使えるように共有していることです。夕方になると、学校施設部分と町民が使える部分にシャッターを降ろし完全に遮断してしまうことです。これにより、学校が開かれてなくても、遅くまで利用できるような状態にあります。図書館は約3万冊の蔵書があります。背の低い本棚で遠くも見渡せました。また、飯綱産の建材を豊富に使ってあり温かみを感じる図書館でした。

すばらしい講堂と図書館が整備された中学校でした。飯綱産建材を豊富に使っており、全体に落ち着いた温かみのある施設でした。本村にもこのような施設があれば。。。移住定住者も増えるかも。。。

(総務文教常任委員 沖島祥介)



中庭



講堂 (音響設備も完備)



講堂 (300人収容できる)



図書館 (子どもコーナー)



図書館



体育館



いいづなコネクトWEST入口。

廃校になる小学校を各地区の住民組織から将来プランが寄せられ、町の活性化のシンボルとして令和3年4月にオープンした自然・スポーツ・健康をテーマとした複合施設で、会議室、体育館、スタジアムなどの他、フィットネスクラブや食堂、コインランドリー、宿泊施設などが整備されています。令和2年7月にオープンした食・農・しごと創りをテーマにした「いいづなコネクトEAST」と共に、町民の交流拠点となりました。

いいづな
コネクト
WEST

総務文教・福祉産建

議会常任委員会合同視察研修として、飯綱町に伺いました。
教育、子育て支援、農産物加工の各施設について、見学させていただき、お話を伺ってきました。

飯綱町子育て世代支援施設 「みじごんのお家」



広く明るい施設。



『子育てと親育ちの拠点施設』として、令和3年5月10日から開所された、飯綱町子育て世代支援施設は、妊娠期からきめ細やかな切れ目のない子育て支援を行う「子育て支援センター」と「子育て世代包括支援センター」、そして多様な働き方を推進する「飯綱町ワークセンター（iワーク）」の

機能を兼ね備えた複合施設です。1階の子ども達のエリアは、町の木材も使用された広く明るいプレイルームに和室や、ランチコーナーなどがあり、外には広場もありました。また2階のママ達のお仕事エリアは、ワークスペースの他に会議室などもあり、とても充実した施設でした。

「子育て応援会議」

子育て応援施策は、過半数を町内の女性で構成する子育て応援会議という検討会において審議しているそうです。女性の意見が十分に反映される環境を構築されているとのことでした。高山村でも！と感じました。

(福祉産建常任委員長)

高井央葉

飯綱町三本松農産物加工施設 飯綱町三本松農林畜産物直売施設 「いづなマルシェむーちゃん」



加工されたりんごジュース、ドライフルーツなど。

本村と同じく、りんごの生産が盛んな飯綱町の農産物加工施設は、令和3年2月1日にオープンし、令和3年は、8月からりんごジュースの加工を始め、事前予約制で令和4年5月頃までずっと稼働していたそうです。こちらの施設は、農産物を持ち込み、加工してもらうことで、その商品の販売が可能になり、また隣接の直売所で販売することができ、農産物加工の一連の流れがここに集約された施設となりました。



6次産業化に向け熱心に見学しました。



こちらの施設では、ジュースの他に、ジャムやドライフルーツの加工も行っているそうです。農産物加工については、いろんなご意見がある中ですが、伺ったお話を参考に、高山村にも活かしていきたいと思えます。

(福祉産建常任委員長)

高井央葉

わたしの声

☆ぶどう栽培に適した地を求めて☆



中原地区
川島 弘平



川島醸造のワイン。



冬のワインぶどう畑。

2015年に高山村に移住し、2016年から水中・久保地区の畑をお借りしてワインぶどう栽培をし、昨年酒造免許を取得しワインづくりを始めました。ブドウ栽培に適した気候を求めての移住でしたが、ここ数年でそれは変わってしまっただように感じます。

気候のことのみならず、社会的にも(ついでに私事的にも)、もうフェーズが変わってしまっただよ、これからのふるまいを考えさせられる出来事が続いています。日々のニュースにはほげげんなりしているけど、SNSで見ると知らない土地のちいさな農



編集後記

今年の梅雨入りは6月6日で、肌寒い日が続いていました。早くも6月27日に梅雨明けをし、猛暑の夏が長いようです。

新型コロナウイルス感染予防の手洗いやマスクをか

家のおもしろさにわくわくしします。

安易に消費されない知恵をいかに子どもたちに伝えていけるか。

考えながらこれからもしごとを続けていきたいと思っています。

川島さんは、大変なご苦労をされながら、荒廃農地を利用していただいています。大変ありがたいことです。今後ますますのご活躍を期待しております。
(柴田弘男)

けての生活が続いています。が、息苦しいときはマスクをはずし、水分補給をして熱中症にならないよう注意してください。

議会では、村民の皆様方の声をより多くお聞きする代表として、議会モニター10名の方をお願いし、定例会の議場の傍聴や議会報

(信州たかやま議会)の感想や意見など、議会に届けて頂いております。新人議員が多く入り活発に議論を交わしており、村を良くしようとかんがっていますので、村民の皆様のご支援よろしくお願いたします。

(柴田弘男)

発行責任者	議長 西原 澄夫
議会報編集特別委員会	委員長 黒岩 清道
	副委員長 久保田雄吉
委員	柴田 弘男
委員	松本 茂
委員	沖島 祥介
委員	滝澤 聖

発行 / 〒382-8510 長野県高山村議会
編集 / 議会報編集特別委員会
TEL (026) 245-1100
印刷 / 株式会社